

学校 教育 目標	主体的に学び、社会とつながり、未来を創る力を育みます。 ○主体的な学び、協働的な学びを通して、課題を解決する力を育みます。(知) ○人とのつながりから学び、自分も他の人も大切にできる力を育みます。(徳) ○生命を尊重し、心身の健康を維持増進しようとする態度を育みます。(体) ○横浜のためにできることを考え、他者と協働しながら行動できる力を育みます。(公) ○自分と向き合い、相手の考えや多様性を尊重し、共に生きていく力を育みます。(開)					
	創立 58 周年 児童生徒数: 421 人	学校長 河野 新	副校長 大字 知子	2 学期制	一般学級: 13	個別支援学級: 3
学校概要	主な関係校: 境木小学校 榑太坂小学校					

教育課程全体で 育成を目指す資質・能力	境木中 ブロック	小中一貫教育推進ブロックにおける 育成を目指す資質・能力を踏まえた 「9年間で育てる子ども像」と具体的取組
<課題解決能力> <主体性>	境木中学校 境木小学校 榑太坂小学校	人とのかかわりを通して 主体的に考え、課題解決をしようとする子ども ・「学習における対話的活動の充実と学習意識の柔軟性について」をブロック授業研のテーマとして設定し、テーマを意識した授業を展開します。 ・小中ブロックで共同でカリキュラムの運営改善を行います。 ・合同授業研究会等を通して、授業改善や授業力向上の実践と推進をはかります。 ・小学校から中学校への移行がスムーズにできるよう、児童による中学校授業参観、部活動の見学などを通して、中学校への理解を進めます。

中期 取組 目標	○人権尊重の精神を基盤とした学校づくりを進め、生徒が学校の主役として安心して生きる力を育める学校づくりを目指します。 ・生徒の状況や思いを大切に学習を支援し、仲間と協働し主体的に学習に取り組む態度を育成する。 ・ICTの効果的な利用、客観的データを活用した授業改善を進める。 ・生徒の声を聴き、その思いに寄り添った丁寧な生徒指導を行って「信頼」「安心」できる学校をつくる。 ・全教育活動を通じ、人権教育・道徳教育を充実させ、自他を大切にすることを育てる。 ・健やかな体の育成を目指し、授業改善や健康教育の充実を図る。 ・特別支援教育の充実、個に応じた指導や教育のユニバーサルデザイン化を進める。 ・小中ブロックや、家庭・地域との連携を進め、地域文化の担い手として社会とつながる力を高める。
----------------	---

重点取組分野		具体的取組
知	授業改善	①学習目標やねらいを提示し、それらに対する振り返りを行うことで、見直しをもった学習態度や主体的に学びに向かう力を育成します。 ②ICTを活用しながら、問題解決的な学習や協働学習を推進することで、課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力を育成します。 ③生徒との対話を通じて学習状況・意欲・悩みの把握を丁寧に行い、わかりやすい授業に改善していきます。
担当	学習指導部	
徳	人権教育	①教育活動を通じて行われる道徳教育と道徳の時間との関連をはかり、ICTを活用して指導を行います。 ②人権学習を通して、人権についての考えを深め、生徒一人ひとりの考えを尊重する機会とします。 ③行事準備の過程において、集団で力を合わせ主体的に活動する経験に触れ、豊かな感性や情操を育む機会とします。
担当	人権道徳係	
体	健康教育	①生涯にわたって運動に親しむ資質と能力を育み、健康の保持増進と体力の向上を目指して指導助言をします。 ②体育的行事や体力向上1校1実践運動を継続して取り組みます。 ③健康に関するアンケートの実施や生徒委員会活動、学校保健委員会を通して、生徒が自らの健康課題に気づき、よりよい健康な生活を実践していくために必要な行動選択ができる力を育成します。
担当	保健指導部・保健体育科	
公 開	自分づくり教育 (キャリア教育)	①地域の方々、保護者と連携し、職業インタビューや自分の進路を考える学習など、学年ごとに系統性をもった活動を行います。 ②各活動を通して、主体的、探究的、協働的な活動の充実を図ります。 ③各活動で学んだことをICTを活用しながら発表し、他者の考えに触れる機会を増やし自らの考えを深めます。
担当	特活指導部	
いじめへの対応		①いじめ防止対策委員会を通じ、生徒の情報共有を綿密に図ることで、子どもたちの小さな変化を見逃さない指導・支援を徹底すると共に危機管理意識の向上を目指します。 ②定期的な面談活動、アンケート調査を実施することで子どもの気持ちに寄り添い、いじめに関する情報を迅速に把握できる体制づくりを目指します。
担当	いじめ防止対策委員会	
人材育成・ 組織運営(働き方)		① 仕事内容の明確化・共有化を図るとともに、ICTを効果的に活用した業務改善を推進し、校務の効率化を進めます。 ② 若手から中堅教員を中心としたメンターチームを組織し、月1回の研修や授業見学・協議を計画的に実施します。 ③ OJTおよびOff-JTを充実させ、人材育成指標に基づいた計画的な研修を展開し、教職員の3つの資質・能力の育成を図ります。
担当	メンターチーム・主幹会	
地域学校協働活動		①学校と地域が連携・協働して子どもたちの声を聞き、その思いに寄り添いながら、子どもたちの学びや成長に繋がるように地域の様々な財(人・もの・環境)を活用します。 ②学校運営協議会と地域学校協働本部とで連携を行い、地域の方々との交流を活発にし、つながりをより深めます。
担当	生徒指導専任・教務主任	
特別支援教育		①特別支援教育コーディネーターを中心として、必要な生徒に必要な支援を提供できるよう特別支援体制の充実を図ります。 ②日常的教育活動で、すべての生徒に分かりやすく効果的な指導方法や教室環境づくりなど、教育のユニバーサルデザイン化を推進します。 ③インクルーシブ教育の考え方など特別支援教育理解のための職員研修を充実させます。
担当	特別支援教育推進委員会	
生徒指導		①全職員が、生徒一人ひとりの声を聴き、想いに寄り添った指導・支援を意識します。 ②様々な場面において、生徒の自治活動を推進し、自主性の向上と自律の力、健全な母集団の形成を目指します。 ③月一度の研修と生徒へのアンケートを行い、生徒の実態に合わせた適切な支援を目指します。
担当	生徒支援部	